

曾根 千賀子

長野県看護大学広域看護学講座老年看護学分野 助教

認知症高齢者の事前意思を記すライフノートの構成枠組みの検討

本研究は、地域で生活する高齢者を対象に日々の生活の中で大切なこと、人生の積み重ねの中で大切にしてきたことならびに終末期に対する意向を明らかにするとともに、事前意思を記すライフノートの枠組みを検討した。

分析の結果、ライフノートの枠組みとして、大きく 2 分類 [Ⅰ. 日常生活で大切にしていること]、[Ⅱ. 要介護および終末期に対する意向] が抽出された。[Ⅰ. 日常生活で大切にしていること] の下位項目は、〈私のこと〉、〈普段の私の暮らし〉、〈健康万歳〉と命名し設定した。[Ⅱ. 要介護および終末期に対する意向] の下位項目は、〈要介護状態になった時の希望〉、〈認知症になってしまったら・・・〉、〈終末期の医療についての希望〉と命名し設定した。記載方法は、項目の性質を見極めて、記述方式と選択○×形式とした。市販されているライフノートと比較して、ボリュームが抑えられた。また、高齢者の日常生活状況と健康に対する取り組みや考えを枠組みとして取り入れることで、ライフノートを用いて高齢者の希望や思いを意図的に発信することが可能になることが期待できる。